

(8) 体操競技

1 期 日 競 技 平成25年8月24日(土)～25日(日)

新体操 平成25年8月23日(金)～24日(土)

〈日 程〉

| | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
|------------|-------|---|-----------|----|----------------|-------|----|-----------------|------------|----|----|
| 23日 (金) | | | | | 新体操公式練習 | | | | 新体操監督・審判会議 | | |
| 24日 (土) | 開館・練習 | | 15 30 | 30 | 30 | 新体操個人 | | 30 | 体操競技公式練習 | | |
| | | | 新体操 団体 | | | | | 体操競技 監督・審判会議 | | | |
| 25日 (日) | 開館・練習 | | 45 | 30 | 体操競技 少年女子 | | 30 | 体操競技 成年男女 | | | |
| | | | | | 体操競技 成年男女練習 | | 50 | 45 | | | |

2 会 場 山口県スポーツ文化センターアリーナ

〒753-0811 山口市維新公園

TEL 083-922-2754

3 種別及び参加人員

| 種 別 | 種 目 | 国体出場数 | 監督 | 選手 | 参加県数 | 小 計 | 合 計 |
|------|------|-------|----|----|------|-----|-----|
| 成年男子 | 体操競技 | 1 | 1 | 4 | 5 | 25 | 105 |
| 成年女子 | 体操競技 | 1 | 1 | 4 | 5 | 25 | |
| 少年男子 | 体操競技 | 5 | 1 | 4 | 0 | 0 | |
| 少年女子 | 体操競技 | 2 | 1 | 4 | 5 | 25 | |
| 少年女子 | 新体操 | 3 | 1 | 5 | 5 | 25 | |

4 競技上の規定及び競技方法

(1) 競技規則

ア 日本体操協会制定の競技規則による。

イ 審判

①日本体操協会競技規則による。

②各県審判員を次のように派遣すること。

体操競技 男子 3名 女子 2名

新体操 女子 2名

③審判割当

体操競技 (男子)

| 種目 | 審判 | D 1 | D 2 | E 1 | E 2 |
|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| ゆか | | 鳥取 | 山口 | 広島 | 山口 |
| あん馬 | | 山口 | 山口 | 鳥取 | 広島 |
| つり輪 | | 島根 | 山口 | 山口 | 鳥取 |
| 跳馬 | | 岡山 | 山口 | 島根 | 山口 |
| 平行棒 | | 山口 | 山口 | 岡山 | 島根 |
| 鉄棒 | | 広島 | 山口 | 山口 | 岡山 |

体操競技 (女子)

| 種目 | 審判 | D 1・E 1 | D 2・E 2 | E 3 | E 4 |
|--------|----|---------|---------|-----|-----|
| 跳馬 | | 鳥取 | 山口 | 広島 | 山口 |
| 段違い平行棒 | | 島根 | 山口 | 岡山 | 山口 |
| 平均台 | | 岡山 | 山口 | 島根 | 山口 |
| ゆか | | 広島 | 山口 | 鳥取 | 山口 |

新体操 (女子)

| | D (難度) | | | | E (実施) | | | | |
|------|--------|-----|-----|-----|--------|-----|-----|-----|-----|
| | 1 審 | 2 審 | 3 審 | 4 審 | 1 審 | 2 審 | 3 審 | 4 審 | 5 審 |
| 競技団体 | 山口 | 島根 | 鳥取 | 岡山 | 広島 | 山口 | 島根 | 鳥取 | 岡山 |
| フープ | 広島 | 山口 | 島根 | 鳥取 | 岡山 | 広島 | 山口 | 島根 | |
| ボール | 広島 | 山口 | 島根 | 鳥取 | 岡山 | 広島 | 山口 | 島根 | |
| クラブ | 鳥取 | 岡山 | 広島 | 山口 | 島根 | 鳥取 | 岡山 | 広島 | |
| リボン | 鳥取 | 岡山 | 広島 | 山口 | 島根 | 鳥取 | 岡山 | 広島 | |

(2) 体操競技競技方法

成年男女及び少年男子ともに1チームの選手は4名とする。

ア 成年 (団体総合競技)

男子は、ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目の自由演技を行う。

成績順位は、6種目の各種目のベスト3の得点合計によって決定する。

女子は、跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの4種目の自由演技を行う。成績順位は、4種目の各種目ベスト3の得点合計によって決定する。

なお、成年男女の詳細な適用ルールについては、別途、(公財)日本体操協会から都道府県体操協会に通達する。

イ 少年(団体総合競技)

女子は、跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの4種目の自由演技を行う。成績順位は、4種目の各種目ベスト3の得点合計によって決定する。

なお、少年男女の詳細な適用ルールについては、別途、(公財)日本体操協会から都道府県体操協会に通達する。

(注) 同点が生じた場合、競技規則に準じて決勝通過順位を決定する。

(3) 新体操競技方法

適用ルールについては、別途、(公財)日本体操協会から都道府県体操協会に通達する。

ア 競技内容 団体競技(クラブ10)

個人競技(フープ・ボール・クラブ・リボン)

成績順位は、以下の合計点によって決める。

団体競技の得点及び個人競技の得点(4種目4演技×1/4)の合計

イ 団体競技について

県ごとに団体を編成し、演技者は5名とする。

ウ 個人競技について

個人競技の演技者として、団体5名の内から4名だけが出場できる。

5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

(1) 各県の予選会に参加し、その結果代表として選ばれ推薦された者でなければならない。

(2) 体操競技少年種別に参加できる選手には、平成10年4月2日から平成11年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。

また、競技種別などを重複して出場することはできない。

なお、監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認体操コーチ(体操競技、新体操)、公認体操上級コーチ(体操競技、新体操)、のいずれかの資格を有する者であること。

第68回大会の特例として、平成24年度公認資格養成講習会の修了者(平成25年10月1日付認定予定者)及び平成25年度公認資格用意講習会の受講者については、公認資格取得者と同等の者として扱う。

6 表 彰 実施要項総則 6 による。

7 参加申込方法 実施要項総則 7 による。

8 参 加 料 実施要項総則 7 による。

9 宿泊申込方法 実施要項総則 10 による。

10 その他

(1) 日程は、参加チーム数、その他により多少変更することがある。

(2) 競技中の事故・傷病については、主催者により応急処置を行い、それ以後の責任は負わない。

(3) 背番号は、中国ブロック大会背番号製作規定による。

ア 体操競技成年男・女 11～14 少年 1～4

(4) 新体操監督会議・審判会議

日 時 平成 25 年 8 月 23 日 (金) 16 時～

場 所 山口県スポーツ文化センター 控室 1, 2

(5) 体操競技監督会議・審判会議

日 時 平成 25 年 8 月 24 日 (土) 16 時～

場 所 山口県スポーツ文化センター 控室 1, 2

(6) 問い合わせ先

〒 752-0984 下関市長府宮崎町 1-1

県立豊浦高等学校内

山口県体操協会事務局 川本範幸

TEL 083-245-2161 FAX 083-245-2162

(7) 参加申込と同時に各県参加チーム・役員の一覧表と県予選会成績報告書を上記

(6)宛に送付のこと。(様式並びに報告書は、各県体操協会事務局に送付する。)